大詔奉戴日

京城日報

朝刊

京城府中區太平通一丁目三一番地　發行所　合資會社京城日報社
編輯兼發行人　高宮太平　印刷人　野伴雄

半島人學校卒業者 職場登用に英斷

毎年内鮮で千六百名を採用

至誠、奉公に努めよ

合格者に諭す　田中總監

李王垠殿下

高松宮御殿へ

ふけ大詔奉戴日　獻金へ總蹶起

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

漢口の敵産、中國側に移管

【漢口七日同盟】對支政策の進展に伴ひ漢口軍連絡部では、かねて同部において管理し來つた支那事變に基く武漢地區敵産の中國側移管に關し調査中のところ、この程全般の調査の完了を見るに至つたので、これが移管式を七日軍連絡部會議室において落合連絡部長、省市政府關係者出席の下に擧行、落合部長より移管目録を贈呈ののち省市政府側より深甚なる感謝の意を述べ滯りなく式を終了した

今回中國側に移管された敵産は昭和十三年皇軍漢口入城以來管理せる敵性敵産並びに民有土地家屋などであるが湖北省管下のものは湖北省特殊財産處理委員會、市政管下の土地家屋は漢口特別市政府においてそれぞれ管理事務を行ふこととなつた

獨軍隨所に猛反撃

赤軍ブリヤンスク奪回企圖挫く

リヨール、ブリヤンスク鐵道に沿つて梯状形に布陣して熾烈な防禦戰を展開、特にオリヨール西北方ではしばしば猛反撃に出で赤軍を奔命に疲れさせてゐる

他方ビエルゴロド地區で再攻勢を開始した赤軍は逐次ハリコフに向つて南下の態勢を示し六日早朝以來ゴロデエフ驛をめぐつて大規模な機甲軍戰を展開、ソ聯情報局は六日夜の公報で同驛を奪取したと稱してゐるが、デーエヌベー情報によればゴロチエフ驛は一時赤軍の手中に歸したが、獨軍は猛反撃に出で同驛を奪回、赤軍一ケ部隊を一兵をも餘さず殲滅したといはれるレニングラード西南ムガー地區の西北方および東方でも五日以來激戰が續行されてゐるが、いまだ戰線に變化を生ずる程度には達してゐない

赤軍の損害五十八萬

獨軍東部戰線一ケ月の戰果

【ベルリン六日同盟】獨軍當局は東部戰線における赤軍の損害につき次の通り言明した

赤軍は七月五日から八月五日までの一ケ月間にわたり續行されたオリヨールからビエルゴロドに至る戰線の戰鬪で死傷者捕虜合して五十八萬の大損害を出してゐる、すなはち赤軍は戰車六十個旅、狙擊兵五十個師を失つたほか狙擊兵四十五個師、戰車二十五個旅に致命的損害を蒙り以上の大きな犧牲を拂つて赤軍が手に入れたのは何らの軍事的重要性を持たぬ一片の地帶であつたのだ

赤軍戰車百十七擊滅

【ベルリン七日同盟】總統大本營の發表によれば赤軍は六日東部戰線を通じ戰車百十七輛を喪失した

ヒ總統、獨首腦者と會見

戰局の轉機に對處重要協議

【ベルリン七日同盟】獨逸各紙は七日朝刊紙上に外相リツベントロツプ氏と會談してゐるヒ總統、獨逸海軍最高司令官デーニツツ提督と總統大本營において協議を重ねてゐるゲーリング將軍の寫眞を大的に掲載してゐる、會談の内容については全然發表されてゐないが戰局の轉機に當面し獨逸軍西部方面の首腦がヒ總統を中心として重要協議を重ねてゐると解される

獨、伊兩外相　ローマで會談

【ブエノスアイレス七日同盟】ベルリンからのU・P電報によれば獨逸外相リツベントロツプ氏は、イタリー政府の要請にもとづきローマに赴き、イタリー外相グアリリヤ男と獨伊兩國政府の關係調整につき協議を重ねてゐると傳へられる

重巡等に命中彈

獨空軍シチリヤで活躍

【ベルリン七日同盟】前線からの報道によれば　シチリヤ島の戰況には重大な變化なく中部における反樞軸軍の中央突破の企圖は悉く失敗したと傳へられる、ドイツ空軍はシチリヤ島周邊の水域において反樞軸艦艇に爆擊を加へ重巡一隻に命中彈數發を浴びせ大型商船二隻を大破したといはれる

ツオルン將軍戰死

【ベルリン七日同盟】オリヨール周邊の戰鬪においてドイツ軍司令官ツオルン將軍が戰死を遂げた旨ドイツ軍當局は七日言明した

ス議長も參加か

英米首腦、近く會見

【ストツクホルム六日同盟】印度カルカツタ電によれば、デーリーメール紙は『チヤーチルとルーズベルト が近く會見して 歐洲要塞攻略戰の作戰計畫に仕上げを加へるだらう』と報道してゐるが、目下の情報によれば、チヤーチルとルーズベルトが近く會見を遂げ反樞軸軍今後の作戰計畫につき協議を遂げるのはまづ動かぬ所だが右會見にスターリン議長も參加するのではないかとの觀測さへ流布されてゐる、スターリン議長が六週間の豫定で前線視察に赴き、モロトフ外務人民委員が代理を務めるといふところから出た觀測だが、戰局の推移とともに米英兩國政府がスターリン議長抱込みに躍起となつてゐることは疑ひない

大擧來襲の敵擊退

わが地上部隊八機を屠る

イサベル島

ンダ基地を繞る彼我の攻防戰を目前に控へ、日夜わが鐵壁の護りも固く、敵は八月六日黑間までもボーイングB17、コンソリデーテツドB24、ノースアメリカンB25、カーチス、グラマン戰鬪機など合計百廿七機の戰爆大編隊をもつて來襲したが、わが地上部隊は果敢に之と交戰、その八機を擊墜し他を悉く南方に擊退した、わが方の損害は輕微である【報道班員田中特派員】

米、陣容整備に狂奔

空の決戰場東部印度戰線

【ビルマ〇〇基地發】ソロモン、ニユーギニヤに列んで日米英航空決戰の舞台であつた印緬國境より東部印度一帶にかけての戰場は、雨季の襲來とゝもに連日の豪雨のため、このところ彼我戰鬪、軍爆隊の壯烈な羽搏きも見られず無氣味な沈默が支配してゐる、昨年十月廿五日 アツサム州 テンスキヤ飛行場群の攻擊をもつて火蓋をきつた我が東部印度航空擊滅戰は、印緬國境のラム、コツクスバザートバリ、チツタゴンなどの敵第一線戰鬪基地を 徹底的に 叩きのめし、これに續くフエンニー、アコーラなど第二線爆擊隊基地さらにカルカツタ周邊の諸飛行場など東部印度の敵基地を 配潰しに粉碎し、米空軍基地たる昆明および雲南驛飛行場また我が熾烈なる爆擊下に屈伏したのであつたが、相次ぐ甚大なる損耗を受けたスチルウエル在印米軍總司令官およびシエンノート在支米空軍司令官は本年五月急遽米本國に飛んで補充機の獲得に狂奔し雨季を利してその陣容整備に必死となつてゐる

カルカツタ、アウサンソール地區以東の東部印度に蠢動する米英空軍は緬甸戰定前は合はせて二百機前後に過ぎなかつたが、印度防衞に必死の米英空軍は空中および船舶輸送によつて遮二無二增强に努めた結果、現在における飛行機總數はその〇倍に達してをり、またその當時スチルウエル司令官の下に統一せられてゐた在印支米空軍も在支米義勇軍の解散、印度駐屯第十飛行隊（司令官ビルセル少將）支那駐屯第十四飛行隊（司令官シエンノート少將）の創設を見て漸次その組織替へを行ひ、それとともに米國製飛行機が次第にその數を增して、現在爆擊機の如きは米國製コンソリデーテツドB24、ノースアメリカンB25をもつて占められ、印度空軍は一部戰鬪隊を除きほとんど米空軍をもつて構成せられ、南北太平洋戰線と同樣に東部印度戰線もまた日米空の大爭覇戰の一角であることを如實に物語つてゐる

敵は得意の大量生產に物を言はせて次々と新鋭機を補充、量をもつて我に挑みかゝらんとしてゐるが精鋭なる我陸鷲部隊は燃ゆるが如き闘志と日夜を分たぬ猛訓練、それに神出鬼沒の作戰をもつて常に壓倒的優勢を持し敵空軍をして應接に暇なからしめてゐる、これら幾多の諸作戰に直接從事し偉功を擧げた親鷲〇〇部隊長は、敵が我に十倍、廿倍の飛行機數を動員してこの地を守らんとしても、我が荒鷲の闘志と神技の前にはものの數ではないことを、直接經驗した諸事實を引例して次の如く力強く語つた

◇

この方面に廻されてゐる敵の動靜を見るとその間多少の消長はあるが、漸次敵は機數を增加しつゝあることが窺はれ、さらにそれをふやすものと考へられるが、飛行機數の增大は必ずしもそれだけ戰力を增加したことにはならない、誰にもすぐ考へられることは飛行機の增加はそれだけ數の操縱者を要するわけで、乘員數の增加は到底一朝一夕にして解決せられる問題ではない、機數の如何はともかくとして、現在東部印度に蠢動する敵の性格には種々の缺陷がみられる、そのうちでも最も特徵的なものとして次のやうなものを指摘することが出來る

一、精神的要素　最も本質的な要素で、それでゐて敵に最も缺けてゐるのがこの精神的要素である、最近米英の戰爭指導者達は躍起となつて國民を煽り立て日本に對する敵愾心を起させようとしてゐるやうだが、敵操縱者の敵愾心の如きは大詔を畏み奉る我が勇士達の闘魂の前にはてんで問題にならない、敵の操縱者は依然として空中戰をまるでスポーツでもやるやうな心構へでをり、隨つて彼等には身の安全を圖ることが第一なのである、我が荒鷲がチツタゴン市街に殺到した場合の例を述べるとチツタゴン上空を二段、三段構へで哨戒してゐる敵戰鬪機は我が戰鬪機が近づくと知るや七千、八千の高度を保ち絕好の奇襲態勢を持しながら我が姿を見るや一目散に急降下退避を企てるが常で、これでは防空にもならない、こちらが反つて敵を捕へるのに苦心するといふ反對現象を示してゐる

二、訓練　空中戰爭ほど平素の訓練が物をいふものはない、敵の捕虜を訊問すると彼らの平均飛行時間は三百時間から四百時間までゝ、これに對しわが操縱士は最低のものでもその倍以上に達してをり、しかも彼らは本國における短期間の教育課程を終了、現地部隊に配屬せられると、それ以後實戰に參加することと以外殆ど訓練を受けることなく、一方わが荒鷲達は實戰參加の餘暇は全部猛訓練を施されるので技術の差はますます激しくなり、例へば射擊技術にしろ敵操縱者は五百メートル四百メートルの遠くから射ちはじめるに對し、わが方はもつとも遠いので二百メートル、普通五、六十メートルの至近距離に達して必中彈を浴びせ、所謂肉を切らせて骨を切るの訓練を受けてゐる　これは精神的要素―すなはち闘志と結びついた問題であるが近代航空戰において操縱者の占める地位が如何に重要であるかを示す一證左である

三、運用　敵の捕虜を訊問するところによると、敵操縱者は一回出動するとその翌日及び翌々日は慰勞休養に當てられ、翌々々日も休養する場合が多く、結局四日に一回出動となつてゐる、尨大な豫備飛行機陣を擁する時にはこの方法も可能であるが、彼我飛行機が同數の場合は わが方が 連日出動するとすればわが方は四分の一の飛行機で敵空軍に對抗し得ることとなる

四、作戰　東部印度方面の敵空軍は現在までのところソロモン、ニユーギニヤと違つて飛行機の集中的運用を行はず普通五六機から十數機の小編隊で來襲し專らゲリラ的効果を狙つてをり、從つてその爆擊効果も大したことはない、これは機數がまた充分に揃つてゐないと同時に敵は大編隊の指揮運用に熟達してゐないことと小部隊主義を採用してゐることによるものである、しかし今後大編隊をもつて來襲する可能性は逐次增加しつゝある、さらに興味深いこととして注目を惹くのは、敵は損害を決して全部隊に通告せず常に自分の部隊以外に公表しようとしない、操縱者の戰意喪失を懸念してかゝる秘密主義をとつてゐるのだらうが、わが方はどんな損害を蒙らうともこれを全部隊に通告し今後の活動の指針たらしめてゐるのと面白い對照を示してゐる、敵はビルマの地理、氣象を熟知してをり、しかも印度また自分の土地に屬するに對し、わが方は敵側の地理、氣象についてこれを想像する以外に方法がないといふ不利な地位にあるにも拘らず、常に壓倒的優勢を持してゐるのはわが巧妙果敢なる作戰と荒鷲の勇猛敢鬪によるものである

在緬印度人が獨立完遂民衆大會

【ラングーン七日同盟】戰ふ印度の指導者スパス・チヤンドラ・ボース氏をビルマに迎へた印度獨立聯盟ビルマ地方委員會ではこれを契機に在緬印度人の總力を米英打倒の一點に結集し完全獨立達成の決意をいよいよ昂揚すべく、七月廿日ラングーン市で獨立完遂印度人民衆大會を開催『血をもつて獨立を獲得せん』ことを力強く宣誓したが、ボース氏は約一時間半にわたり大獅子吼を行ひ、聽衆の胸に深い感銘を與へた

敵屍、捕虜六百三十

河南省七月中の戰果

【開封七日同盟】河南省における七月中の綜合戰果左の如し

交戰回數一〇一、交戰敵兵力三六、九二〇、敵屍一二六、俘虜五〇四、鹵獲品、小銃一五、同彈藥九二九、輕機九、迫擊砲三その他多數

社說　戰力增强體制への挺身

一

第一次ソロモン海戰に稀有の大戰果を擧げて以來、早くも一年を經過したが、南太平洋に於ける日米の決戰は益々熾烈となり、彼我戰術そのものゝ性格も次第に變移し來つたこと、最近屢次に亘る大本營發表の戰果に見ても明かなる通りである。既にして實際戰の局面に於て、大敗を喫したる米國が飽戰第一主義を揚棄して、遂に航空機至上主義に轉向し、然も奈何の相次ぐ損害に鑑みては陸上基地の獲得前進に着目するに至つたことも見逃し得ざる現實である。即ち、何れにするも決戰の運命が次第に濃度を加へ來つたことは爭ひ難いところである。

二

日米相戰ふや、日本は二ケ月にして經濟的破綻を來さんと、わが國の敗戰を豫言したる米國に對して、緖戰の事實は彼の期待を裏切り、健全なる必勝體制のもとに、着々として戰力を增強しつゝある日本の現在の國力が、人的資性に於て先づ米國を凌ぎ、物的資材の乏しき中にも敢然と起ち上つて『先づ勝て』を一億國民の合言葉として邁進しつゝあることは、寔に頼もしき限りであるが、それにしても戰力增産の急務なるとは今後ますます當面して來る問題であることを考へれば、銃後の戰力が直接前線に通じてゐることを、深く心に銘ずべき好戰例ともいひ得るであらう。

三

いはゆる天文學的數字を得意とする米國は、既定建艦計畫に從つて八百七隻、三百三十九萬噸の建造に着手し、少くとも一兩年後にはこれが完成を傳へられ、また航空機にありても、本年は十二萬五千機を目標としながら、最近の月產は約五千機で一年にして六萬機に過ぎずといはひながら、決してあなどるべからざる數字といふべく、その兵力も陸軍の三百廿五萬、空軍の八百二十萬、臨海軍飛行操縱員二百四十八萬目標の大擴張計畫も、必ずしも一笑に附し得ざる數字と見なければならぬ。

四

要する米國が今や總動員體制を決して、一擧に勝敗を決せんとしてゐる意圖を充分に窺ふに足るところであり、殊に前述の戰力增强體制の頂點に達するのが昭和十九年で、もし二國が日本として立つ時、その頂點は廿年と見るも最も嚴戒對處すべき年であることは言を俟たない。時も時、ギヤラツプ輿論調査機關の『日獨何れを主敵とするや』の質問に對して、昨年は日本を主敵とすると答へたものが廿五％であつたに對し、本年は五十三％となり、ドイツを主敵とするものが昨年の五十％から本年は廿四％に減じてゐるのと對比する時敵米國の 對日意圖の 積極的動向を察知するに足るのである。

五

われ等は今や過去の勝利のみに傲ることなく、撓まざる敵愾心の昂揚によつて、飽くまでも敵に備へ敵を凌ぎ、敵に打ち勝つべき體制に立つべきであり、それは一に彈丸に、飛行機に、兵員に、その他一切の戰力增强に邁進する以外に道はなく、個人的なる便宜に囚はるゝことを恥ぢて、すべてを戰爭に捧げる心に徹して、消費の節約は勿論のこと、貯蓄に、防諜に、勤勞に、錬成に、老幼男女相俱に戰爭生活に挺身すべき秋であることを銘記せねばならぬ。

大東亞辭令（七日）

任大使館參事官（一）外務書記官　岸井偉一
中華民國在勤仰付
（南京）大使館參事官　桝谷秀夫

内閣辭令（七日）

依願免本官
朝鮮總督府技師　池井佐治
陞敍高等官（一）

陸軍司政長官（七日）

任陸軍司政長官（二）新竹州知事　藤村寬太

消息

◇西山勉氏（滿洲國中央銀行總裁）七日夕刻釜山通過『ひかり』で北行
◇水野勝邦氏（貴族院議員）七日『大陸』で北京へ
◇岩瀬米藏氏（鹿島組京城支店長代理）六日平北満平へ出張
◇兵部謙輔氏（帝國水產統制京城支社長）事務打合せのため東上の豫定

自作農創設の擴充 資金の融通を簡易化

【東京電話】農林省では皇國農村確立促進運動の一施策として本年度以降昭和廿五年までを一期とする第三次自作農創設維持事業を展開すべく準備中のところ今回いよいよこれが關係諸規則たる同施行令、同施行規則ならびに登錄稅法施行規則をそれぞれ改良事業の簡易化と促進をはかることゝなり七日附官報をもつて告示、十日より實施する、自作農創設維持事業は大正十五年創始以來今日に至るまですでに十八年を經過しその間今回の改定を含めて三回の計畫改定をみたがその概要を示せば

第一次計畫 大正十六年以降廿五年を一期とし簡易生命保險積立金、その他の資金四億六百八十六萬圓をもつて小作地總面積の約廿四分の一に相當する十一萬七千町歩を自作農地化とする

第二次計畫 昭和十二年以降廿五年を一期とし簡易保險積立金、預金部資金など總額十億圓をもつて小作地面積の七分の一弱に當る約四十一萬七千町歩を自作[illegible]月末現在における過去十七ケ年の事業實績を綜合するに總額二億五千萬圓の資金を融通して十七萬町歩を自作農地化とし自作農創設を行つたが、當初の計畫に比し概して進捗を見てゐない狀況にある、今回の法令改正は過去におけるかかる經驗にもとづき資金融通の途を一層簡易化乃至緩和してこれが積極的推進をはからんとするところにその狙ひがあり改正の要點は次の如くである

一、道府縣、市町村または部落農業團體の行ふ自作農創設後、事業は從來の自作農創設者に對する土地購入資金の貸付、土地購入により生じたる債務の借替に必要なる資金の貸付、開墾に對する調整などのほか新に次の三つの場合を追加した

(1) 自作地となすべき土地の取得斡旋
(2) 創設資金借受けの斡旋
(3) 自作地となすべき土地開發に對する調整ならびにこれが利用に必要なる施設の取得斡旋

一、同じく農業團體の行ふ自作農維持事業についても從來通り自作農地購入によつて生じた債務に對して助成するほか今後は大小となる自作農各負擔する一面の債務借替へに必要なる資金に對しても融資しまたは借受けの斡旋を行ひ得ることゝしもつて自作農の小作農への脱落化を防止する

一、從來小作地を自作農地化する災害土地を耕作する小作者の承諾を受けることになつてゐたが今回これを削除しこれによつて耕地を失ふ小作者に對しては極力開墾地乃至滿洲移駐を斡旋し萬全の措置を講ずる

一、從來の自作農創設維持に對する資金融通は原則として最高六千圓、特別の場合は八千圓となつてゐたが、今後は金額で限度を示さず面積をもつて限定しこの面積は農林大臣の認可を受け地方長官の定むる最高標準を超えざることとする

赤松 黒松の最高價格指定 原木、製材共二割値上

總督府では七日附告示を以てアカマツ及びクロマツの最高販賣價格(生産者及び鮮小賣業者價格)を指定、原木及び製材共に約二割方の値上を行つた、卽ち從來アカマツ及びクロマツの販賣價格は昭和十[illegible]

城等全鮮十三の各道 驛所在地に於ける原木及び製材の生産者最高販賣價に一・〇五を乘じて得たる價格、小賣業者最高販賣價格は前記十三の都市別に各地に於いて卸賣業者より小賣業者の倉庫又は店頭、ないしは工場[illegible]

統制會の官僚化を是正 翼政會松村川島委員ら進言

[illegible]

宮崎縣内海で

[illegible]

上海の主要商品物資 近く強制買上か

[illegible]措置を取るべく考慮[illegible]とする重要國積物資[illegible]が生れ物價の抑制[illegible]資すべしとなす輿論[illegible]るのは極めて重要視[illegible]て上海に於ける物資[illegible]展しつゝあるが、各[illegible]綜合するに國府當局[illegible]物資との方策として[illegible]關設置、二、買上査[illegible]種類の選定、四、買[illegible]行に移されるもの見[illegible]も愼重考慮中と附さ[illegible]

鮮銀總會七 十八回定時總會内定

鮮銀では來る十九日東[illegible]

松炭油の性能試驗 第二朝運丸便乘記 孫田特派員

[illegible]遞信局海事課 樋口技師の下に重油と松炭油の比重[illegible]定、松炭油一〇、重油二の[illegible]で混合 第二朝運丸は松本京畿道[illegible]ほか約七十名が分乘、[illegible]において正午記錄の進發をし[illegible]ストンは半速から全速へと[illegible]も快調、靜かな波がへさきに碎けて雪のやうに白い、船は京畿灣の多島海を縫うて西へ西へと八浬半、往復十七浬の航續で見事な記錄を作つた

重油を燃料に使用した場合毎分二百八十九回で一ぱいの能力を發揮し一馬力當燃料消費量が一合五勺であるが、今回使用した混合油によると消費量だけが約一〇%增加し回轉數燃燒狀態は何らかはらない、また松炭油のみ使用した場合は

重油に比して 約二割が[illegible]た性能が減少し燃燒が不完全のため機械の掃除を頻繁にしなければならぬ、溫度に於てはポンプに供給する直前に攝氏四〇度を保たねばならねが當日は氣溫がそれに近かつたので加熱裝置の必要がなかつた、冬季は加熱裝置によつて點火を容易にすることができるといふ

混合油の場合重油のほか輕油なら一割で完全な作能がでるが、松炭油の普及につれて今後輕油よりも重油の使用がいろ／＼の事情において容易であるため今後重油二割混合を奬勵する當局の方針であるが、松炭油普及につれて緊急とされる問題は各地方と松の種類によつて松炭油の質が違ふのでこれを混合した松炭油タンクを各區域別の要所に設けて

船舶への供給 を便ならしめることと松炭油自給自足の確保であるが、來年からは廢坑採取と松炭油增産を一層強化する當局の方針であるから絕對に心配なしといはれてゐる

油は水よりも輕いといふ一般の常識を裏切つて水よりもずつと重い、松炭油が完全にとれた松炭はプリンネル硬度五度といふ揮發分の豐富な硬炭となり、これを木炭自動車に使用すれば申分のないお誂へ向だといふから松炭油の增産は一石數鳥策として大いに期待されてゐる【寫眞＝第二朝運丸】

亞細亞懇談會 華北本部を強化

[illegible]部、局を新たに設置して機能強化をはかることゝなつた

化學統制會支部 鮮內會員は合計十二

化學工業の內外地統制運營を強化すべく既報の如く化學統制會で鮮內は朝鮮並に臺灣に支部を設置することに決定、朝鮮においては、目下準備を進めてゐるが、これが傘下會員はこの程商工省告示三百十三號を以て鮮內有資格會員七社を正式に追加指定した、なほ外地包括の結果從來同統制會員で鮮內工場のもので自動的に加入するものも五工場あり鮮內會員は合計次の十二となるわけである(括弧內は製品)

▲新會員 朝鮮日產化學(過燐酸石灰)朝鮮火藥(硝酸)朝鮮化學肥料(特殊化成肥料、硫酸)朝鮮電氣冶金(カーバイド)大日本紡績(硫酸)協同油脂(苛性ソーダ)三陵開發(石灰窒素カーバイド)

▲自動的加入工場 日窒興南工場[illegible]

不要建物や店舗 住宅營團で住宅化

[illegible]

朝鮮煉炭擴充 二工場近く完成

〇〇萬トンを目標とする朝鮮煉炭の增産計畫は大體豫定通り進捗し鮮內主要地八ケ所の製造工場以外に目下建設工事中の三工場(京城第二工場、吉州、光州)のうち、京城を除く二工場は何れも十月末ころ迄に完成操業を開始する、京城工場は一昨年末以來工費二百萬圓を投じて工事を進めてをり、煉炭工場としては本邦第一の施設を誇るもので附屬施設として試驗室を設置し諸機械の規格統一、原料配合並に代用ピツチ等に關する試驗研究を行つて品質の改善向上に努めると共に諸機械の補修等も行ふ計畫で明後年夏までに完成させる豫定である

新農業團體 會長に井野氏

【東京電話】新農業團體は關係勅令の公布を待つて近く設立することになつてをり目下山崎農相が中心となり各會長の銓衡を進めつゝあるが、大體において中央農業會[illegible]

南米貿易再檢討 敗戰米と世界貿易の將來性

[illegible]る事實は貿易上の門戶開放主義、世界各地に對する投資の機械化並に南米貿易の再檢討論等が盛んに行はれてゐることである、米國輸出業者間に於ては最近世界市場の積極的開發を圖り、資本輸出を斷行すべしとの議論が昂まつてゐる、現に米國貿易を主として[illegible]を、米國對外經濟政策の根幹をなすものと盲斷してはならない、何んとなれば對南米貿易に限り、資本家の今後積極的投資を誘致し得るからである

南米市場が將來の米國貿易に對し有する重要性は勿論、これが確保は特に必要である、今次大戰以來南米諸國に於ては國家主義的風潮が顯著となり國家經濟の獨立性を要望する聲が盛んとなるに至つた、從つて外資排擠の叫びも一部にある始末である、この點に關し米輸出貿易業者は外國投下資本に對する南方諸國の國家主義的傾向排除、各國に對する經濟的機會均等平等待遇保證の必要を力說してゐる

大東亞戰爭勃發以來、南米諸國の米國內戰時原料資材供給は增加の一途を辿り、對外貿易越高は過去十八ケ月間に約十億弗強に上つてゐる、從つて南米諸國はこれが一部を以つて工業化資金に充當し得る譯であるが、米國資本家はこの際進んで一役買つて積極的に投資を行ふべきだと主張してゐる、これは勿論、米國の金融帝國主義を端的に表明するものではあるが工業國間の貿易額は工業國農業國の貿易に比し遙に巨額に上るとの實際的な經濟的考慮に基いてゐる

海軍特別志願兵制度について (上)

海軍省人事局局員 海軍中佐 小手川邦彦

『朕は汝等軍人の大元帥なるぞされは朕は汝等を股肱と頼み汝等は朕を頭首と仰ぎてそ其親は特に深かるへき朕か國家を保護して上天の惠に應し祖宗の恩に報いまゐらする事を得るも得さるも汝等軍人か其職を盡すと盡さゝるとに由るそかし』

畏くも明治十五年一月四日、明治天皇より陸海軍人に下し給へる御勅諭に於て斯く泌深き御言葉を賜りたる軍人の榮譽と責任とは何物にも譬へやうなく唯唯恐懼感激の外はない。わけても皇國の興廢を、將又大東亞の興廢を賭して戰ひつつある今日程、皇國軍人の責務の重且大なる事は嘗つてなかつたのである。

此の秋に 當り半島に徵兵制度及び海軍特別志願兵制度が施行せられ、報國の誠に燃える半島青少年も均しく 陛下の股肱の臣として畢つて國防の第一線に參加せしめられる光榮を擔ひ、特に海軍を志願する者は傳統に輝く皇國海軍兵として遠く海上に雄飛する機會を與へられるに至つたのは誠に意義深きことといはねばならない。

洽く皇化 に浴して以來の半島の發展は眞に目覺しいものがあつた。治平の下、制度文物は大いに整ひ、諸產業は急激に勃興し人口も僅々三十餘年の間に二倍に垂んとする繁榮振りを示して居るのであるが、啻に物的方面の進展のみならず、教學遍く普及し其の精神的方面に於ても一大進展を遂げたのであつて、今日迄專ら皇國に護られ育てられて來た半島同胞も、愈々今後皇國を護る一員としての榮譽と責務とを分擔することゝなつた。半島二千四百萬の同胞は茲に三十餘年にして既に斯く深き御信任を忝うしたのである。往昔を顧みて誠に感慨無量なるものがあると共に、皇國臣民たるの自覺に目覺め來れる同胞の喜悅と希望もさこそと眞に同慶に堪へぬ次第である。以下海軍特別志願兵制度に關しその施行の趣旨及び制度の概要に就いて說明したいと思ふ。

海軍特別志願兵制度の趣旨

陸軍特別志願兵制度が施行されたのは昭和十三年四月であつたが、海軍兵志願の途がその後も知々開かれないのは如何なる譯かと、誰しも疑問に思つたことであらう。それは、海軍の勤務の特殊性が嘗つてより國民たるの自覺を必須要件とするばかりでなく、精神力・體力、知力の何れに於いても特に優秀な素質を必要とするので、果して數年前の半島青年が海軍兵に適するや、なほ疑問であつた爲である。然るに最近殊に今次の大東亞戰爭を契機として半島青少年の皇國臣民としての自覺は躍進的に深まると共に、

海洋の重 要性に對する認識も頓に昂まり、優秀な素質を有する青少年が熱誠を披瀝して海軍を志願し來る事例も幾多認められるのであつて、是ならば大丈夫立派な海軍兵を養成することが出來るものと信ぜらるゝに至つたので茲にその熱誠に應へて海軍兵を志願し得る途が開かれることになつたのである。

徵兵制度が施行せられながら別に海軍特別志願兵制度が實施せられたのは如何なる趣旨に依るかといへば、是は海軍の特質上志願兵制を特に重視する見地に基くのである。

卽ち海軍 は其の特質上、海洋の重要性に目覺めて海軍志願の熱意に燃える若い青少年の中から、風浪艱難を征服せねばならぬ海上勤務に堪へる體力を有し、あらゆる面に於いて高度に技術化されて居る艦艇兵器を操作し得る知能を具へ、且犧牲的精神、責任感、忍耐力に富み、艦內の和合一致の中に心から融け込み得る樣な者を選拔し、而もこれに對し、長期に亘り特殊の技能教育を授けることに依つて、眞に世界一の海の精兵を練成すること時に肝要とするのであつて、之が爲には志願兵制を最も適當とするからである。從つて現在並に將來共海軍に於いては徵兵制と併行して志願兵制を實施せられるのである。

軍事 絶對信頼で軍隊を形成

一、軍人は信義を重んすへし 信義を重んずるは人の道であつて敢て軍人のみでなく萬人が守らねばならぬものであるが特に勅諭に於てこの一條を設け、御諭し遊ばされたのは、軍隊といふ特殊の團體の中にある軍人には一日も忽せにできない德目であるからであらう、いふまでもなく軍隊は皇威を發揚し、國家を保護する重大任務を荷ふものであつて、その一人一人が〃生死を俱にする仲〃といふ特殊信頼感で結びついてゐなければ、軍人本來の忠節も、武勇も充分に發揮できない、兵營は生死を同じうする軍人の家庭だと言はれる理由も亦こゝにある、奉公の誠を捧げる軍人が、互に信頼し合つて軍務に從ふことが出來なかつたら、支離滅裂な軍隊となり、それこそ蔣介石の兵隊のやうになるだらう、軍人の仕事は殆ど全部が協同動作であるから敏速な行動の場合など絕對の信頼がなくては効果を擧げられない、上官、部下は互に信頼し、同僚も亦堅く信じあひ生命を預け、身を委せてゆくところに皇軍の世界一といふ強味があるのである

言行一致と信義 『信とは己が言を踐行ひ』と仰せられたのは『言行一致』の大切さをお示し遊ばされたものである、また、『義とは己か分を盡すをいふなり』と御訓へ遊ばされたのは、正しい道に從つて義務責任を果すことであつて、いつたことは必ず行ひ、行へば必ず終りを完うするまでやる、つまり言行一致といふことである、昔から信實、實直、正直などの言葉で信義を現はし、日常生活で信義を守らない人を爪彈きする氣風が強いのは日本の美點である、よく『武士に二言なし』とか『男子の一言金鐵よりも堅し』といふのも我等の祖先が信義を重んじた證據である、昔は金錢の貸借などでもその證書に『若し期日に至り御返濟致さざる節は門前にて御笑ひ被遊度候』と書いた、以て信義を重んじたのがわかる

『信義を盡さむと思はゝ始より其事の成し得へきか得へからさるかを審に思考すへし』と畏くも御諭し遊ばされたのは、輕はずみな約束をして、後で不義理にならぬやう、卽ち、兵が互ひに自己の力量と能力とを考へよ、判斷して實行に移すやうにとの、勿體なき御趣旨と拜察する。

大綱を誤るな 『大綱の順逆を誤り或は公道の理非に踏迷ひて私情の信義を守りあたら英雄豪傑ともが禍に遭ひ身を滅し』と仰せられてあるのは、小節の信義を盡しながら大綱を誤つたが故に、英雄豪傑と謳はれた人も、その死後に於いて汚名を流したのを思ひ、充分に自戒せよと戒め給うたものと拜察し、平素から私を捨てゝ公に就くの理をよく辨へて置かねばならない、人が、よく惡の中では非を悟りながらも、義理人情に絡まれて遂に心に反した約束をしたり、曲つた命令に服して最後を完うすることが出來なかつた例は世に多い、軍人に若し右のやうなことがあつては 天皇の股肱たる榮譽を失ひ、作戰遂行上に多くの支障を來すであらう、信義の條項でかくも御懇篤な御訓を垂れさせ給ふ有難さに感泣し一般國民も亦た應へ奉るところがなくてはならない。

佛印南方諸域間 電報の取扱調印

【サイゴン七日同盟】佛印南方諸地域間の無線電信業務は南方占領地域內の軍政整備に伴つて佛印在留邦人商社との間に密接なる連絡強化が要請せられるに至つたので佛印大使府當局では去る四月佛印當局とサイゴン、昭南および南方における日本陸軍占領地間の片假名による公衆電報取扱に關する交涉を開始、爾來大使府サイゴン支部において種々折衝中であつたがこのほど漸く兩者間の意見完全に一致し六日サイゴンにおいて右に關する協定調印を了したので七日午後一時日佛共同コンミユニケを發表した

獨逸の燃料對策 人造石油の產額漸增

【東京電話】今次大戰開始に當り『ナチスの石油』ほど世界的視聽を集めたものはない、戰爭の初期に、反樞軸國側が犯した最大誤謬の一つは『ナチスの石油』についてであつた。巨人の如き獨機甲兵團は瞬く間に石油ストツクを飲みつくし、それ自身の重壓下に押潰されるであらうと考へてゐた。しかし開戰後四ケ年を經た現在、ナチス機甲兵團はいまも以つてソ聯軍を相手に廣大なる平原に縱橫無盡に活躍しており、反樞軸國側の豫想を完全に裏切つてゐる、かくの如き威力をふるはしめたものは豫想外のドイツ人造石油生產能力であつたといへよう

一九四一年歐洲大陸における天然石油及び人造石油生產高は左の通りである(單位一、〇〇〇噸)

▲天然石油	
大ドイツ(墺、洪、波を含む)	一、三〇〇
ルーマニヤ	五、一〇〇
ハンガリー、アルバニヤ	四〇〇
計	六、八〇〇
▲人造石油(ドイツ)	
直接液化法	二、一〇〇
乾溜法	七〇〇
その他の方法	一、三〇〇
合成潤滑油	一〇〇
合成ベンゾール	五〇〇
合成自動車用アルコール	五〇〇
計	五、二〇〇
▲その他諸國の人造代用石油	
オランダ、ベルギー、フランス	三〇〇
イタリー	一〇〇
總計	一二、〇〇〇

この一、二〇〇萬噸の石油は一九四一年現在ロシヤ占領地を含む歐洲大陸の平時需要の半分以上を滿し得る量であるがドイツは嚴重なる消費規正に依り、これが殆ど全部を軍需に充てることが出來るその後人造石油產額は增加してゐるといはれる

他方ドイツの石炭年產額は一億八千萬噸に達し歐洲一番の產炭國である、戰爭開始以來ドイツは石炭增產に努めると共にこれが消費節約を圖り、すでに製鐵業をはじめ、工業方面では消費量の節約、低質炭の利用增加等に顯著な成績をあげてゐる、殊に低質炭の利用擴大に伴ひ、從來埋藏量の五〇%に止つてゐた採炭可能範圍は最近では七五%程度までに擴大されてゐる、供給の增加した低質炭は主として燃料用に振り向けられ、それにより浮いてくる上質炭は製鐵、化學工業方面に廻はされてゐるその他舊ソ聯領の石炭利用、電氣ガスの節約強化、トラクターの代燃車化、ガス自動車への轉換等諸種の燃料對策が採られてゐる

新種戰時國債 八日賣出

【東京電話】政府は國債の消化の便に供するため來る八日の郵便局賣出國債より從來の利附國債にない額面價格をもつて賣出す左記條件の新種國債を發行するに內定、七日附官報で公布する新種國債についてはこれが償還に際し別に額面百圓につき三圓五十錢を交付することになつてゐる

一、國債名稱大東亞特別戰時國債
二、賣出價格額面百圓に付百圓
三、利率年三分五厘
四、利子拂込年一回
五、償還年數約十七年六ケ月
六、額面種類百圓、五百圓および千圓の三種

なほ割引國債の券面種類については從來十圓、二十圓および三十圓の三種であつたが、八日の郵便局賣出分より三十圓券を廢止、その代りに五十圓券を發行することゝなつた

衣服の更生 纖新會で懇談

在城纖維關係官民をもつて組織せる『纖新會』では、七日午後二時から遞信事業會館に第二回例會を開催、湯村、樋口兩顧問ほか各顧問および會員ら卅餘名出席 經濟學博士田村浩氏の『戰力增強と企業整備』と題する講演を聽取してのち、衣服の更生をはじめ古綿の再生や莫大小類の供出などについて種々懇談を行ひ同五時散會した

農林省異動 (八日)

[illegible]總務部長、馬政局事務官山口立、任營林局事務官(二)命東京營林局長▲大臣官房文書課、農林書記官楠見義男、命大臣官房秘書課長兼總務局價格課長▲農政局農政課長同蓮池公咲、命大臣官房文書課長▲總務局國債課長同藤田巖、命總務局金融課長兼務▲企畫院書記官東畑四郎任農林書記官(三)命農政局農政課長▲總務局農林事務官古郡節夫、命農政局資料課長▲總務局金融課長農林書記官中村喜大、命農政局農業保險課長▲大臣官房秘書課長兼文書課長農林書記官兼農林大臣秘書官久保古道任馬政局事務官(三)命馬政局總務課長▲農林省總務局長事務取扱▲東京營林局長營林局事務官須田立、依願免本官▲農林書記官([illegible]農政局農業保險課長兼[illegible]政局資料課長)利澤一氏は企畫院に轉出

訂正 昨紙朝刊二面『鋼鐵の增產策』と題する記事見出しは『鐵鑛石の增產策』の誤りに付訂正す

隨想錄

挑みかゝる米英鬼畜の驕を粉碎すべく、今日本の學生が空をめざして起ち上つたのは、まさに當然のことながら頼母しい限りであつた▲その時に於て〃よし、俺も征くぞ〃と四十八歲の市長が、その椅子から名乘りをあげて陸軍特別操縱見習士官の試驗に合格したのは、痛快極まるものといつてい▲この市長、ただの市長でなく、往年、勞農黨の鬪士として第一線にあつた細迫兼光氏である。その後、翼賛壯年團にある國家組織の末端において御奉公してゐたのだが、時局の推移は彼を奮起せしめた▲このことは一人の細迫兼光氏の問題ではない今や一億が本當に總立ちになつてゐる一つの實例である。學生も起ち上れば、市長も起上る。そして全國の力を結集して敵を擊つのだ▲敵は日本の敵であり、亞細亞の敵であり、世界共同の敵であると共に正義人道の敵である。これを擊つ爲に、足腰の立つ者は全部武裝すべきである。細迫兼光氏は自らそれを實踐し、かつ教へた▲父も子も銃を執つて戰ふ。學生が[illegible]

完うせよ銃後奉公
古市府尹、府民に要望

指定納期日
設定に當り

第一線に立てぬ我我銃後國民はこの際一發の彈丸でも一台の飛行機でもより多く決戰場に送つて仇敵の息の根をとめようと或は歸然の大殿堂から四百餘年も使ひなれた國寶府祭器の赤誠、或は土龕民の獻金と國民の赤誠は鐵火と沸つてゐるときその逆に京城府民の中には、國民義務の一つであり戰費の財源である租税の滯納者が夥しい數に上るので、これを一掃しようと府では種々對策を講ずる一方納税事務の迅速を圖るため今月から廿五日を指定納期と定め實施することになつたが、七日これについて古市府尹は次の如く語り府民の納税協力を要望した【寫眞＝古市府尹】

租税は戰力の財源であり、これなくしては勝利はむづかしい、京城府でも租税の完納を期するために指定納期日を設けたが、内地の都市では既に十數年前から實施し指定納期内に完納の好績をあげつつあり、朝鮮でも他府では既に實施中で今月は第三種所得税第一期分と臨時利得税第一期分との納期で既に納税告知書は府民各位の手許についたと思ふ、内地都市に劣らぬ指定納期内に完納の好績をあげ、銃後奉公を完うするやう切望する

聽かう府民の聲
永登浦署の警察座談會

決戰下府民の心構へを新たにして必勝信念を更に固めると共に民間の意見希望も普く聽いて治安確保の参考資料に供するため永登浦署では次のやうな日程で『都市警察時局座談會』を開催する

▲八日午前十時（永登劇場）▲十日午後二時（本洞町々會事務所）▲十三日午後二時（新吉町東部町會事務所）

板村伍長合同告別式
龍山國民校で

大東亞共榮圏建設に惜しくも〇〇部隊で戰病死した故陸軍伍長板村紀氏の英靈を弔ふ漢江通一町會東西、南町會合同の告別式は七日午後四時から龍山國民學校講堂で佛式により嚴かに盛大に執行した【寫眞＝同告別式】

京畿道知事（代理）はじめ愛國班員、在郷軍人、日婦會員五百餘名參列、式は國民儀禮にはじまり與本願寺宮城淨師の讀經、白文を奏上、弔辭弔電披露ののち委員長挨拶で焼香に移り松浪忠藏（漢江通一西町總代）の遺族、朝鮮〇〇黑田部隊長、加藤在郷軍人分會長、古市軍人援護會京城分會長（代理）及び一般

戰ふ台所の明朗化
東大門署闇と買占めの肅清に

ともすれば物資の不足につけ込んで多額の不正利得を貪るもの、または一般家庭買占行爲等が頻繁に發生、銃後の配給統制を紊す不屆者が多いので、東大門署經濟係では帆代主任指揮の下に全係員を動員、近く管下の商店は勿論一般家庭に至るまで一齊取締の手を延べ、戰時物資の圓滑交流と適正配給を圖ることとなつた

最近街の商人は未だ〝物の時代〟といふ非時局的な觀念から拔け切れず〝物はあるが、これに代る物を出さねば物を賣らん〟といつた自由經濟時代の悪辣な商賈根性を公然と發揮しては戰時下重要な配給品を惜賣または闇で横流れさせる不都合者が我が物顔に横行する現状である、この物々交換に伴ひ買占行爲も激増の一途を辿つてゐるこのほど同署に檢擧され、暴利行爲等取締規則違反者として嚴重取調べを受けつつある東大門區新設町三三八の三德山七星(三○)の如きは靴下、馬鈴薯その他の生活必需品を闇値で多量買占めこれら必需品の出廻りを鈍らせたものである、今後同係では闇商人の徹底檢索はもとより決戰家庭の台所を引緊めて生活品の適正配給を圖るとともに戰ふ台所の確保に萬全を期することになつた

軍工員を募集

京城職業紹介所では某陸軍倉庫から軍工員の斡旋依頼を受け左の要領で軍屬を募集する

募集人員　多數▲職務、衣料の選別、糧秣の精選其の他▲應募資格、十八歳から卅五歳までの者で國民學校を卒業、京城府内に居住し身體強健で通勤出來る者▲提出書類、自筆履歴書一通寫眞一葉▲申込場所京城職業紹介所男子一般部▲申込締切八月十五日迄▲詮衡日時場所、八月十六日午前八時同所▲詮衡方法人物考査、身體檢査

鍼灸講習會

朝鮮盲啞協會では來る廿四日から廿八日までの五日間に亘り毎日午後一時から午後三時まで城大小杉、鈴木、渡邊、醫專成田の諸教授、大家錬成部長を講師に迎へ鍾路區新橋町一、總督府濟生院盲啞部で鍼術、灸術、按摩術從業者の夏期講習會を開催

聽講希望者は來る廿日までに葉書（電話光化門三二七でも可）に住所、職業、氏名を記し同協會宛に申込まれたいと

檀家の獻金

旭町三丁目日蓮宗護國寺檀家有志一同（代表黑田惠海氏）は七日海軍武官府を訪問、獻兵金五十圓と佛具鐵製品荷車一台を獻納した

銀輪は輕く
ひた走るこの感激
朝鮮神宮參拜、徵兵制實施記念

〝の幟を先頭に靑々と延びた稻田を縫つて京城へと北進する若人銀輪部隊―之は忠南牙山郡靑年團、辰巳奉告隊長以下廿六名からなる半島徵兵制實施の歡喜に咽び感謝決意を朝鮮神宮に奉告し聖戰完勝の決意を固めんとする逞しい進軍の姿だつた

一同は六日午前五時半牙山を出發沿道に歡呼と食糧増產に敢闘する農民の聲援に送り迎へられて同日午後七時京城着、七日朝の南山神域に銀輪を列べて朝鮮神宮、京城神社に参拜、關係各所を挨拶した後八日午前六時京城を出發再び銀輪を驅つて歸路につく【寫眞＝銀輪部隊】

自轉廢業
時局柄自轉の態度を示して龍山區元町南料亭業者西村氏は七日龍山署を訪れて廢業の旨を申出た

逞しい海の子魂
きのふ漢江で府民水泳大會

徵兵制實施に沸る烈々の鬪魂を誇示して國民皆泳の飛沫をあげようと京城府では徵兵制實施記念京城府民水泳大會を七日午後一時から漢江人道橋上流京城府營水泳場で百餘名參加のもとに開催、國民儀禮に次いで古市京城府尹代理濱田理事は

榮光の徵兵制を控へて一だんと國民皆泳運動が熾烈となつて來たが水泳に對しては飽くまでも敢鬪精神を發揮して堂々と戰つて貰ひたい

と開會の挨拶を述べ、上原鍛錬部長の注意あつて直ちに競泳の火蓋を切つた

漢江横斷、兩岸往復、二千米競技に〝我は海の子〟の氣魄を示して熱戰を展開すれば最後の敵船奪取競技では壯快な熱技を示して同五時半終了した

賑ふぬり繪展
本社主催　丁子屋で

海軍魂を鍛へよと本社小國民新聞主催『海の記念日ぬり繪展』は特選作鍾路國民學校三年宮原照明君ほか五名及び一般入選作五十點を出陳して六日から十二日まで丁子屋五階で開催、一枚の圖柄をかくまで塗りわける兒童の海への關心を禮讃する父兄や我が校の誇りに集ふ學童で連日賑つてゐる【寫眞＝海の記念日ぬり繪展】

永登浦署の武道納會

永登浦署では去月廿八日から武道錬成大會を開き、毎日午前と午後の二回に亘り日曜拔きで、瀧口署長以下全署員が猛錬成の順でそれぐ焼香して泉下の芳魂安かれと祈念、同五時半閉式した

龍虎相搏つ接戰を展開、瀧口署長から成績優秀な者にそれぐ賞品を授與・講評があつて四時頃散會したが入賞者は次の通り

▲劍道＝一等加藤警部補、二等安村、三等山田四等田村五等田中（引）六等石川、七等井崎▲柔道＝一等加藤部長、二等牧野、三等木村、四等松川、五等森山、六等早川、七等松本▲兒童の部＝劍道一等岸崎、二等山口

三つ子健在
張切つてます

街の慰問袋

◇……興亞の三ツ兒として去月十二日霧島に雄々しい産聲を舉げた三人の赤ちやんのその後はどうなつたでせうか？生れて五日目から母親須美子さん(二五)と共に城大附屬醫院小兒科に移り和泉、高井兩博士の手厚い診療にすくすくと育つてゐます

◇……父親の山本茂さんが京城神社市宮司にお願ひして賀夫（トモフ）勇夫（イサフ）仁夫（ヒトフ）と名づけられ

◇……『將來の三勇士は暑さにも決して負けぬぞ今に見ろ、憎い米英をやつつけてやるから…』と眞ツ赤な手足を踏ん張つて大元氣です【寫眞＝大きくなつた興亞の三つ兒】

儒林の意氣昂揚
八日府民館で儒林大會

徵兵制實施の感激は永き傳統にたてこもる儒林の胸をゆすぶり京畿道儒道聯合會は大詔奉戴日の八日午後一時から京城府民館大講堂に『徵兵制實施感謝決意宣揚京畿道儒林大會』を開催する、參列者は道内府郡儒林代表で開會の辭について國民儀禮あつて會長の詔書奉讀あり會長並に朴澤朝鮮儒道會長の告辭、波田總聯總長の祝辭、決意宣揚宣言皇國臣民の誓詞齊誦聖壽萬歲奉唱、閉會の後講演及び映畫を上映する

徵兵感謝獻金

徵兵制實施に沸き上がる半島同胞は胸底から迸り出る感激を獻金に示してゐるとき、鍾路一ノ二三鍾路理容師會では〝バリカンだけが御奉公ではない〟と管下の理髪業者に獻金報國を呼びかけたところ業者一同の赤誠凝つて百九十圓十錢に達し、七日鍾路署へ國防獻金として寄託した、なほ同日寄せられた赤誠は次の通り

一千八十一圓廿錢と慰問袋百七ケ京城鍾路和洋食組合員並に從業員一同▲五百圓鍾路區中學町一八宮部築房▲卅二圓同築房從業員一同▲三百圓鍾路區謙松町五四京城土地家屋紹介業北部組合員一同▲二百十圓鍾路旅館組合員一同▲二百圓鍾路區樂園町一六四三和番社長江原理旭▲六百五十七圓同券番妓生一同▲十三圓十錢同養成所生一同▲卅九圓九十錢同役員一同▲廿圓同駐車場挽子一同▲百八十四圓四十錢鍾路瑞麟町七〇朝鮮料理業組合員一同▲六圓七十六錢西大門區峴町四七ノ一〇文江殿蹄

賞金を獻金

中區太平通大塚商會印刷部洋帳課の伊藤武助課長以下十名は廿圓を四日本社を通じて海軍へ國防獻金した、なほ同金額は勤務成績良好で社から特別賞與金としてあたへられたもの

繪畫を獻納

これはまた變つた繪畫の獻納―江原道高城郡外金剛面温井里日本畫家德田玉龍氏は世界の名山金剛山の風景を彩管に收め四日朝鮮軍愛國部を訪れ〝どうか軍隊か白衣の勇士をなぐさめて下さい〟と獻納を申し出て感激させた

感心な吉岡さん

府内新町一七白揚方吉岡タマさん(三)は精勤廿年を組合から表彰されて金卅圓を受けたが六日本町署を訪れ海軍恤兵獻金へ寄託した

獻金

京城文新公立國民學校高等科二年李泰潤君ほか九十五名は夏休みを利用して廢品回收を行ひ金拾參圓廿三錢を國防獻金として七日本社に寄託した

〝感謝〟を獻金

〝一日から徵兵制實施となり非常に感激してゐます、これは些少ですがその感謝の印しとして獻金させて頂きます〟と西大門署進藤町一七大滿菜飯蔵は四日西大門署へ十圓を獻金寄託した

白衣の勇士へ

京城西四軒町一八九宮田俊藏氏は六日亡母の七周忌に際し金二百圓を京城陸軍病院に持參

僅かですが亡母の遺志を汲み、傷病勇士の方々をお慰めする資の一部にでもお充て下さい

と謙虚な獻金を申し出て白衣の勇士を感激させた

仲居さんの赤誠

龍山區元町二料理業新玉の仲居さん一同は去月十四日から毎朝座敷の掃除に遲れた者は一圓獻金を申合はせてゐたが七日これが取纏めたところ五十一圓となつたので龍山署を訪れ國防獻金として差出

感激の旅館組合
徵兵制に寄託獻金

京城鍾路旅館組合では徵兵制實施の感激なほさめやらぬ六日鍾路署を訪れ、〝こんな嬉しいことがまたとありませうか〟と組合員一同が醵金した二百千圓を獻金寄託した

西大門署取扱ひ

皇軍の一員として戰ふ徵兵制實施に感謝と感激のあまり醵出を獻金

一日から三日まで西大門署扱ひの徵兵制實施感謝獻金者は次の通り

百五十圓中區黄金町三ノ五八眞田信幸▲十圓西大門區橋北町四ノ八〇國本應斗▲五十圓朝鮮自動車配給會社半島人職員一同

ラジオ
8日

朝　▲六・三〇（城）大詔奉戴日常會の時間、力一ぱい働かう、國民總力朝鮮聯盟總務部長瀨牛凡夫（鮮語譯）星野忠男▲九・〇〇勝利の記録（録音）

晝　▲〇・三〇ラッパ吹奏と合唱▲一・〇〇（大）物語▲三・三〇報道▲五・〇〇報道▲六・〇〇少國民の時間われらの國史、中江良介▲六

夜　・三〇ピアノ獨奏合唱治郎▲七・二〇大東亞に呼ぶ皇風大東亞に恰し準久井龍雄、週間報告▲八・〇〇講談義士外傳槍の俵星一龍齋貞丈▲落語首榮春風亭柳橋▲九・〇〇（城）軍國歌謠、半島兵の歌一、希望の朝二、我等は兵に召された三、勇士になる四、我等は帝國軍人五、子送る歌六、母の希ひ（城）野談（朝鮮語）節義並全崔汝成

椰子【29】
海野十三（作）　村上松次郎（繪）

不審（一）

加太郎は、ふとわれにかへつた。腦天が變な感じである。目を明けるのと、腦天へ手をやるのと同時だつた。

腦天には、濕したタオルが載つてゐた。そして彼自身は籐の肘掛椅子に腰をかけてゐた。こゝは何處だらうか、とあたりを見廻はしてみると、客室だつた。

『おや、をかしいぞ』

卓上に見覺えのある魔法壜がのつてゐた。腰をかけてゐる椅子の横に、雜誌がきちんと積んであつた。彼自身は壁に背を向けた肘掛椅子の中に深く腰を下ろしてゐるのだつた。之はたしかに三百十三號室だ。さつき居た部屋である。だが南部夏子博士の姿は見えない。

彼は面妖なとがあるわいと、一生懸命にこの説明を考へ出した。が、さつぱりわけが判らなかつた。壁の方に積んで、雜誌を一冊々々覗つてゐたことは憶えてゐる。その内に腦天にひどい痛みをおぼえ、その直後意識を失つてしまつたことは薄ぼんやり記憶にある。

（一體どうしたといふのだらう）

濕つたタオルを腦天から取除いて、おそるおそる指先で腦天にさはつてみた。

痛みはある。しかし大した痛みではなかつた。タオルからぷんと酸つぱい藥品の匂ひがした。タオルを濕してゐたのは、水ではなくて、何か藥品であつたのだ。

彼はこのタオルをもう一度腦天において、解けない謎を解かうと努力しはじめた。

そのときだつた。入口の扉が開いて、南部夏子博士がはひつてきた。博士は彼を認めると、扉をばたんと閉めて、

『あら、もういいんですか。痛みはとれたでせう』

と、加太郎の正面に突立つて、彼の顔をまじまじと見詰めるのだつた。

『は。痛みは大したことありません。一體私はどうしたのでせうか』

加太郎は不審のほどを博士に訊いた。

夏子博士はさういつた。

加太郎は目を丸くして、自分の腦天を幾度もさすつてみた。

このとき彼は女博士の言葉が初めてはちがひ、なんだか變に硬ばつた調子を持つてゐることにちよつと氣がついたが、それからあと女博士が新しい話題について語り始めたので、そのことはすぐ忘れてしまつた。これを思ひ出したのはずつと後のことだつた。

『頭を打つたのですね。そこに轉つてゐるものが上から落ちてきたのでせう』

さういつて南部夏子博士が椅子の下を指さした。加太郎は、はあといつて椅子の下をのぞきこんだ。すると、そこに椰子の實が轉つてゐた。

『あ、椰子の實だ』

加太郎はびつくりした。

『これが上から落ちてきたのでせうか』

彼は壁の上と女博士の顔を見くらべた。

『そこに吊つてあつたのですがね……低いところだつたから、大したことでなくてすんでよかつたと思ひます。話にきくと、あつちでは椰子の實が梢からどんと落ちてきて、下に居合はせた人間の頭蓋骨を粉碎することがあるさうですからね。幸運と思はなくてはなりませんよ』

登記公告

京日案内

案内料金（前金）

種別	一件一回税込
一號型（三行）	金参円参拾銭
二號型（五行）	金五円五拾銭
三號型（十行）	金拾壹円
求職一號型	金壹円六拾五銭

姓名は社の御照會は午前九時より午後五時まで廣告部へ御問合せの事

一號型（三行）：貸家／看護婦／養豚場譲る／譲渡／看護／家庭教師／婦人／給仕／譲渡

二號型（五行）：求貸事務所倉庫／工場譲渡／男子社員急募／求電話／女事務員入用／男女事務員／求借事務所

三號型（十行）：奉天勤務男子／朝鮮火藥會社／女子事務員採用／金谷商店／製材工場又は木工場／龍山二八三六番／幹部社員採用／安田生命支店／社宅を求む／日本製鐵／三井物產支店／女事務員タイピスト採用／京仁商事株式會社

裁縫經驗者採用　鐘紡衣料工場／倉庫係急募／東都書籍會社／至急譲受けたし／東洋輕金屬株式會社／中年女子募集／植村製藥會社／無線技術員募集／タイピスト採用／萬彼ミシン商會／求土地、建物／窒素肥料販賣會社／採用／東洋／醫師代診看護婦／住友本社鑛業所／花柳病專門　白川醫院／和田產院／大の病院／宅地分讓／洋裁生徒募集　京城洋裁女塾／タイピスト募集／日之出組　市内運搬／引越運搬

映畫・演劇

大陸劇場・第一劇場・京城寶塚劇場・明治座・若草劇場・京日文化映畫劇場・城南劇場・中央劇場・和信映畫館・朝日座・桃花劇場・浪花館・新富座・東洋劇場
日本ニュース／勝利への輸送／名人長次郎／決鬪般若坂／山西の土地と民／朝日ニュース／海員養成グラフ／荒鷲の記録／くもとちゅうりつぷ／小金井勝／軍國大物語／鐵人都／旅路の街／東京元禄／シンガポール總攻撃／海南島／劇團星群

登記公告

朝鮮殖產銀行